

(1) 館林市議会だより

(令和5年8月1日)

たてばやし

第224号

市議会だより

編集：館林市議会報編集委員会

6月
定例会

館林市税条例の一部を
改正する条例など
21 議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし 2～3 ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 ... 4 ページ
- 常任委員会の審査報告 5 ページ
- 一般質問 (10人) 6～11 ページ
- 永年在职議員表彰 12 ページ

「第二資料館玄関」
大拙輝一さん応募作品

※ 第二資料館は日本遺産「里沼」
情報発信センターになっております。

市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し
引き続き「3密」を避けるように
してください。

新型コロナウイルス感染症情報はこちら↑



館林市議会ホームページ

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>



本会議のあらまし

令和5年館林市議会第2回定例会は、6月2日から19日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案は21件、報告2件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。

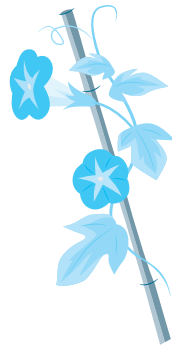
人事案件

▽農業委員会委員の任命について

現委員の任期が、本年7月19日をもって満了となるが、

- 野中正一さん(城町)、
- 小島美恵さん(本町四丁目)、
- 飯塚雅実さん(当郷町)、
- 阿部和雄さん(小桑原町)、
- 渡邊定男さん(野辺町)の5名を引き続き任命したいとして、また、
- 磯清さん(大島町)、
- 橋本好正さん(赤生田本町)、
- 木村和久さん(成島町)、
- 瀧野瀬雅彦さん(日向町)、
- 山本克之さん(足次町)の5名を新たに任命したいとして、農業委員会等に関する法律の規定により、議会

に同意を求められたもので、任命につき全員一致で同意されました。



条例の改正

▽館林市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、まず、個人市民税において、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行されることに伴い、森林環境税の賦課徴収に係る規定を整備するため、次に、収納関係において、地方税統一QRコードの導入

その他の議案

一致で可決されました。

▽館林市サイクリングターミナル指定管理者の指定について

平成29年4月1日から休止している館林市サイクリングターミナルの再開において、民間活力による集客力の高い施設運営を図るため、まず、当該施設と一体的な活用を図る南側

公園用地の事業案の提案を条件に公募を行い、次に、館林市サイクリングターミナル指定管理者選定等委員会の審査を踏まえ、類似施設の管理運営に関して経験と実績のある株式会社塚原緑地研究所を選定し、同施設の指定管理者に指定しようとするため、地方自治法の規定により、議会に対し、議決を求められたもので、全員一致で可決されました。



サイクリングターミナル

▽市道3366号線の路線認定について

開発行爲により、新設された道路(当郷町字丸屋敷1990番10地先を起点とし、同1990番20地先を終点とする延長89・6m、幅員6・0mから13・8m)を新たに3366号線として路線認定

するため、道路法の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽城沼総合体育館空調設備等改修工事請負契約の締結について

城沼総合体育館の空調設備等改修を行い、当該施設の機能性を高めるため、河本工業株式会社と5億4670万円で同工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議決を求められたもので、賛成多数で可決されました。

▽財産の取得について

国のGIGAスクール構想の実現に向けた環境整備に係る機器として、小学校1・2年生用の学習用情報端末1123台を取得するため、東日本電信電話株式会社群馬支店と5448万8500円で物品購入契約を締結するに当たり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会に対し

議決を求められたもので、
全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求める
ことについて(館林市税条
例の一部を改正する条例)
Ⅱ 地方税法等の一部を改正
する法律が本年3月31日に
公布されたことに伴い、ま
ず、軽自動車税において、
環境性能割の臨時的軽減措
置の期間が終了したこと及
び種別割のグリーン化特例
の期間が延長されたことに
伴う修正のため、次に、固
定資産税において、地方税
法に規定する課税標準の特
例が改正されたことに伴う
引用条文の項ずれの修正及
び当該特例の申請書類につ
いて必要な事項を定めるた
め、本条例の一部を改正す
る条例を専決処分し、地方
自治法の規定により、議会
に対し承認を求められたも
ので、全員一致で承認され
ました。

る条例) Ⅱ 地方税法等の一
部を改正する法律が本年3
月31日に公布されたことに
伴い、都市計画税に適用の
ある課税標準の特例が改正
されたことに伴う引用条文
の項ずれの修正を行うため、
本条例の一部を改正する条
例を専決処分し、地方自治
法の規定により、議会に対
し承認を求められたもので、
全員一致で承認されました。
▽専決処分の承認を求める
ことについて(館林市国民
健康保険税条例の一部を改
正する条例) Ⅱ 地方税
行令等の一部を改正する政
令が本年3月31日に公布さ
れたこと等に伴い、国民
健康保険税において、ま
ず、後期高齢者支援金等課
税額に係る課税限度額を20
万円から22万円に引き上げ
るため、次に、低所得者に
係る軽減対象を拡大するた
め、また、新型コロナウイルス
感染症の影響による減
免について、令和5年4月
1日以後に納期限が設定さ
れている令和4年度分の保
険税を減免対象とするため、

本条例の一部を改正する条
例を専決処分し、地方自治
法の規定により、議会に対
し承認を求められたもので、
賛成多数で承認されました。
▽専決処分の承認を求める
ことについて(令和5年度
館林市一般会計補正予算
(第1号)) Ⅱ 低所得の子育
て世帯へ給付金の支給を行
う、子育て世帯生活支援特
別給付金給付事業を追加す
る補正予算を専決処分し、
地方自治法の規定により、
議会に対し承認を求められ
たもので、全員一致で承認
されました。
▽専決処分の承認を求める
ことについて(令和5年度
館林市一般会計補正予算
(第2号)) Ⅱ 低所得世帯へ
給付金の支給を行う、電
力・ガス・食料品等価格高
騰重点支援給付金事業を追
加するほか、新型コロナウイルス
ワクチン接種事業を
追加する補正予算を専決処
分し、地方自治法の規定に
より、議会に対し承認を求
められたもので、全員一致
で承認されました。

補正予算

▽令和5年度館林市一般
会計補正予算(第3号) Ⅱ
寄附金の受入れに伴う予算
化のほか、国の交付金を活
用しながら、エネルギー・
食料品価格等の物価高騰へ
対応するための事業費など、
4億5880万1000円
を追加し、歳入歳出予算の
総額をそれぞれ308億2
961万9000円とする
もので、全員一致で可決さ
れました。

報告

▽令和4年度館林市一般会
計繰越明許費の繰越報告に
ついてⅡ令和4年度館林市
一般会計補正予算(第10
号)及び(第11号)におい
て、戸籍事務454万30
00円など合計9億553
6万4000円を繰越明許
費として設定し、繰越計算
書のとおり令和5年度に繰
越したことについて、報告
されました。
▽令和4年度館林市下水道
事業会計予算の繰越報告に

ついてⅡ令和4年度館林市
下水道事業会計予算の建設
改良費の2億555万10
00円を繰越計算書のお
り、令和5年度に繰越した
ことについて、報告されま
した。



▽館林市選挙管理委員会委
員及び同補充員の選挙Ⅱ館
林市選挙管理委員会委員及
び同補充員に、次の方々が
当選されました。

○選挙管理委員会委員

松本善一郎さん(大島町)

小林幸枝さん(日向町)

大谷英子さん(堀工町)

前山文伸さん(当郷町)

○同補充員

篠原由美子さん(下早川町)

吉間弘幸さん(上三林町)

泉田真宏さん(本町二丁目)

下津佳代子さん(赤生田町)



議員個人の賛否結果一覧表 (第2回定例会)

議案名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
		小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口さく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	齊藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	
議案第23号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第24号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第25号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第26号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第27号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第28号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第29号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第30号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第31号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第32号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて (館林市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	承認
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて (館林市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	承認
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて (館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	承認
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度館林市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	承認
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度館林市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	承認
議案第38号	館林市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	館林市サイクリングターミナル指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	市道3366号線の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	城沼総合体育館空調設備等改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	令和5年度館林市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決

※権田昌弘議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、「館林市税条例の一部を改正する条例」「城沼総合体育館空調設備等改修工事請負契約の締結について」「財産の取得について」の議案3件で、採決の結果、「城沼総合体育館空調設備等改修工事請負契約の締結について」は、賛成多数により、ほかの2議案については、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

市民福祉

館林市障がい者総合支援センターの現地視察を行いました。



障がい者総合支援センターの現地視察

経済建設

付託された案件は、議案2件で、まず、「館林市サイクリングターミナル指定管理者の指定について」は、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

次に、「市道3366号線の路線認定について」は、現地調査を行った後に審査を行い、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。



市道 3366 号線の現地調査

そのほか、都市計画課及び区画整理課より、「館林駅東側の都市再生と西側の市街地推進について」の報告がありました。

“令和4年度（下期分）政務活動費の収支報告”をお知らせします

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、政策に関する調査研究、研修、広報等の活動のために市議会の会派へ交付される費用のことです。

館林市議会では、議員1人当たり年額15万円（月額12,500円×12か月）を当該年度分一括して各会派に交付しています。

各会派より提出されました「収支報告書及び会計帳簿」は、市議会ホームページで公開しています。



令和4年度（下期分：令和4年10月～令和5年3月）交付分を掲載

会派名	所属議員数	交付金額	支出額	残額(返還額)	執行率
緑水クラブ	8人	600,000円	358,633円	241,367円	59.77%
公明党	2人	150,000円	9,199円	140,801円	6.13%
日本共産党館林市議団	2人	150,000円	108,386円	41,614円	72.26%
一心会	2人	150,000円	2,200円	147,800円	1.47%
未来クラブ	2人	150,000円	70,040円	79,960円	46.69%
無会派(吉野高史)	1人	75,000円	75,000円	0円	100.00%
無会派(斉藤貢一)	1人	75,000円	2,640円	72,360円	3.52%
計	18人	1,350,000円	626,098円	723,902円	46.38%

※令和4年度は議員の改選期にあたり、交付額につきましては、年額を上期分と下期分に分けて、下期分として議員1人あたり75,000円を交付したものです。

市議会会派構成

令和5年7月1日現在

緑水クラブ

○野村晴三

○小森但弥

○池上のり子

○岩本泰生

○野上博志

○柴田理信

○洪谷昌弘

○権田重吉

○遠藤昌弘

○公明党

○平井玲子

○堀口きく枝

○日本共産党館林市議団

○篠木純子

○田辺正明

○一心会

○川村幸人

○飯島一志

○無会派

○岡野陽子

○斉藤貢一

○吉野高史

○代表者

○代表者

○代表者

一般質問

今定例会における一般質問は、6月8日・9日の2日間に行われ、10人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

6月8日

岩上 博志 議員 (7ページ)
○学校適正規模及び通級指導教室について
○Jアラート情報発信時の対応等について

平井 玲子 議員 (7ページ)
○自転車の安全対策と生活保護行政について

野本 泰生 議員 (8ページ)
○茂林寺沼南岸用地利活用事業について

川村 幸人 議員 (8ページ)
○大島地区のスマートインターチェンジと本市の公衆トイレについて

池森のり子 議員 (9ページ)
○ふるさと納税と高齢者の学びの場について

6月9日

堀口きく枝 議員 (9ページ)
○小・中学校におけるトイレの洋式化と窓口業務の効率化について

田辺 純子 議員 (10ページ)
○高齢者等の交通弱者に対する移動手段について

齊藤 貢一 議員 (10ページ)
○「地域共生社会の実現」について

篠木 正明 議員 (11ページ)
○つつじが岡公園の賑わいの創出とつつじの保護育成について

吉野 高史 議員 (11ページ)
○尊い命が失われた件について
○選挙公約の進捗状況の課題について

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➡



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、次ページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※ 6月定例会の会議録は、9月上旬に掲載の予定です。





学校適正規模及び通級指導教室について Jアラート情報発信時の対応等について

岩上 博志 議員



学校適正規模について

質問 学校教育法施行規則で定める標準規模校が本市には何校あるのか。

答弁 12～18学級を標準と

定めており、現在標準規模内には小学校7校、中学校4校が該当しています。5年後には小学校5校、中学校2校となる見通しです。

質問 桐生市や富岡市では「学校適正規模の基本方針」等を策定しているが、本市の現状はどのようになっているのか。

答弁 学校の小規模化については十分に留意して取り組まなければならないと考えています。昨年度の総合教育会議においては、市長

と教育委員会とが、現状や課題の共有を図り、意見交換を行った次第です。

要望 中等教育学校等の設立や学校適正規模基本方針等の策定を、市長をはじめ関係当局には、様々な方面から検討するように強く要望します。

通級指導教室について

質問 ニーズがありながらも、家庭の事情により通級指導を断念する保護者がいるなど、様々な現状についての課題解決に向けて教育

委員会は、どのような解決策を考えているのか。

答弁 新たな通級指導教室の設置については引き続き県に要望してまいります。また、現状では難しい巡回指導については教育研究所の訪問相談を支援の選択肢の一つとして、児童生徒の自立と社会参加を目指していくことが可能となります。

要望 特別支援教育に対するニーズに添えていくために、通級指導教室の増設や巡回指導の実施、研究所相

談員の増員等を要望します。

Jアラートの対応について

質問 ハザードブックにはJアラート発信時の避難場所が示されていないが、どこに避難すればよいのか。

答弁 市内小中学校や公民館など、地震の際の避難所と同じ50の施設と中部公民館、館林高校、館林女子高校の3つを合わせた53の施設が国民保護の避難施設として県の指定を受けています。



自転車の安全対策と 生活保護行政について

平井 玲子 議員



自転車の安全対策について

質問 本市の自転車事故の現状は。

答弁 市内では、令和2年は38件、令和3年は60件、令和4年は57件、発生しております。

質問 自転車保険の加入状況は。

答弁 群馬県民全体を対象

としたアンケート調査結果によりますと、令和2年は

県民の約68%、令和3年は約74%、令和4年は約75%が加入しております。

質問 自転車保険加入の義務化と併せて、自転車利用時のヘルメット着用も努力義務化されました。自転車用ヘルメットの着用率は。

答弁 県民全体を対象としたアンケート調査結果によりますと、令和2年は約38%、令和3年は約61%、令和4年は約68%が着用しております。

質問 自転車用ヘルメット購入費補助制度を創設する考えは。

答弁 自転車安全利用の観点から、今後の着用状況を注視し、調査研究をしていきたいと考えています。

要望 ヘルメット購入費補助制度を創設し、ヘルメッ

ト着用率が上がれば、万が一事故に遭っても、致死率を下げるができます。自転車用ヘルメット購入費補助制度の創設については要望とします。



生活保護行政について

質問 ケースワーカーの配置は、社会福祉法において市部80世帯に1人を「標準」

として定めております。本市のケースワーカー1人当たりの担当世帯数は。

答弁 ケースワーカー1人当たりの担当世帯数は78世帯です。

要望 行政側が先入観を抜きにして向き合うこと、そして、寄り添うべき人の声にしっかりと耳を傾け、伴走型の支援をするためにやるべきことは、まだあると考えます。ケースワーカーの増員と女性の相談員の配置を要望します。



茂林寺沼南岸用地 利活用事業について

野本 泰生 議員



質問 茂林寺沼南岸用地に全国から誘客できるような施設を整備することですが、これまでの経緯について伺います。

向けて、公募による事業展開を図ることにしました。

質問 事業の進捗状況は。

答弁 今年1月に、地域において住民説明会を開催、

答弁 平成20年4月に用地を取得し、その後様々なプロジェクトによる利活用を検討しましたが、具現化せず、観光地としての発展に

2月に事業提案型の公募を受付け、事業者の選定まで行いました。今後は広く意見聴取を行い、事業計画の確定へと進めていきます。



大島地区のスマートインターチェンジと 本市の公衆トイレについて

川村 幸人 議員



質問 群馬県と館林市が連携した大島地区のほ場整備事業と産業団地造成事業と密接に関連するスマートインターの現在の進捗状況について伺います。

質問 大島産業団地造成におけるスマートインターの利便性や付加価値について伺います。

答弁 現在、大島産業団地の南側においてスマートインターの設置について相談を進めているところです。

答弁 まず、利便性については、大島産業団地に進出する企業の高速道路へのアクセス性が向上し、物流などの効率化が図れると考えています。また、付加価値

質問 公募により1社を選定したが、その方法とは。

答弁 茂林寺沼南岸用地利活用事業者選考委員会を設置、審査と評価により、評価基準を上回った株式会社ニューメタボリズムを優先交渉権者に選定しました。

質問 事業提案の内容はどのようなものですか。

答弁 建築、アート、デザインをコンセプトとして里沼の要素を生かしながら、商業施設や美術館、多目的広場等を設置するものです。

として、1つ目は、防災・減災上の広域避難につながる経路確保、2つ目に、企業誘致におけるセールスポイントとしての優位性を發揮できると考えています。

質問 災害時における近隣住民の避難経路としての役割について伺います。

答弁 スマートインターの推進による新たな避難経路の確保は、災害時のリスク軽減のために必要であると考えています。

質問 本市の公衆トイレの

多目的広場には障がいのあるや性別、年代、身体能力に関わらない遊具等を設置したインクルーシブ公園エリアの提案もあります。

質問 隣接地では、温泉が湧出しているようです。この温泉を利用してはいたいて誘客を促してはいかがでしょうか。

答弁 温泉は魅力的なツールと認識していますが、温泉を所有する事業者や南岸利活用の事業者の意向もあるので、動向を注視してい

今年4月現在の数や老朽度などの状況を伺います。

答弁 市内に57か所、83棟のトイレがあり、昭和時代に建設されたものも多く、30年以上が経過したトイレが全体の約半数、40棟となっています。

質問 南面駐車場のトイレやダノン城沼アリーナの駐車場トイレは、本市を代表する利用頻度の高い公衆トイレと言えますが、この2か所のトイレの老朽度などの状況を伺います。

きたいと考えています。
質問 南岸施設の建設費用については。

答弁 民間事業者が自ら施設等を建設することになっているので、市においては建設の直接的な費用負担は発生しないと考えています。

質問 館林市の観光における将来展望については。

答弁 官民連携を必須と考え、里沼等「館林にしかない」魅力を発信し、まちの魅力向上を図っていききたいと考えています。

答弁 南面駐車場のトイレは昭和61年、また、ダノン城沼アリーナの駐車場トイレは昭和59年に、それぞれ建設され、双方とも40年近く経過している状況です。

要望 南面駐車場のトイレとダノン城沼アリーナの駐車場トイレが双方とも40年近く経過している状況なので、造り替えは無理でも、せめて屋根や外壁等の塗装工事をし、外見をきれいにしたい。快適に利用できるように要望します。



ふるさと納税と 高齢者の学びの場について

池森 のり子 議員



ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の使い道について伺います。

回答 館林市寄附条例に規定する事業を中心に、市の対象事業に充当しています。

要望 公平、平等に市民のために使うよう要望します。

質問 邑楽館林産小麦を製粉した柔らかいのにコシが

あると評判の地元のうどんなどを市がPRし、商品の価値を高めることも1つの方法と思いますが、考えを伺います。

回答 うどんなどの返礼品を地域の特産品として強くPRすることにより、返礼品自体が、その地域の魅力発信に寄与するものと考え

小・中学校におけるトイレの洋式化と 窓口業務の効率化について

堀口 きく枝 議員



小・中学校におけるトイレの洋式化について

質問 現況の小・中学校トイレの洋式化率について、お尋ねします。

回答 小学校11校では59%、中学校5校では82%となっています。

質問 今後の洋式トイレの設置計画と進捗状況について

て、お尋ねします。

回答 本年度は、学校施設環境改善交付金を活用し、第九小学校のトイレ改修工事を行います。今後の改修予定は、国庫補助金を活用し、次年度以降、美園小学校と第三小学校の工事を予定しています。

要望 直近で洋式化への改

ています。

質問 サイクリングターミナルの宿泊割引券で集客するなどの方策を取ってみるのはいかがでしょうか。

回答 関係者等と協議していきたいと考えています。

質問 高齢者の学びの場について

にさせないサポート体制について伺います。

回答 本市では3つの支援体制があります。地域の見守りと支え合い活動の取組、生きがいと健康づくりの推

修工事が行われない学校に關しては、早く安心して学校生活を送れるように、可能であれば既存の給排水管を活用した便器のみを交換し、洋式化することを検討するよう要望します。



窓口業務の効率化について

質問 「おくやみコーナー」を設置した場合のメリットについて、お尋ねします。

進、困った時の相談支援体制です。

質問 高齢者の学びの場を取り入れるに当たり幅広い分野が必要と思いますが、現状を伺います。

回答 本市の生涯学習では、行政と市民が協働して高齢者の学びの場を提供しています。

質問 近隣自治体では中学校の教科書を使い、音楽や美術を学べる学校があります。本市で実施するに当たり、具体的な対応策があり

回答 死亡届手続をワンストップで対応し、ご遺族の不安や負担も軽減され、スムーズな手続ができます。
要望 本市の状況に合った「おくやみコーナー」の導入を要望します。

ますか。

回答 今後、高齢者教室の受講生や高齢者に関係する部局と連携しながら、ニーズを踏まえて研究していきたいと考えています。

要望 高齢者に対する取組が1人1人の健康寿命を延ばすことにつながると思いますので、そつした取組を要望します。



レットをよりよくするため

に検討を始めています。

質問 書かない窓口について、お尋ねします。

回答 職員が申請書の作成をサポートする方式やマイナンバーカードと専用の読み取り機を活用する方式、スマートフォンで事前に入力する方式等により申請書の記入を簡素化しています。

要望 書かない窓口の設置と、いつでも丁寧に教えていただけるデジタル推進委員の配置を要望します。

高齢者等の交通弱者に対する 移動手段について

田辺 純子 議員



質問 館林都市圏地域公共交通計画の現状は。

答弁 6つの基本方針を定めて各種施策を推進しております、市内の新たな生活路線として、赤羽線・茂林寺巡回線・六郷西線・通勤通学ノースライナーの4路線を整備完了しました。

線バスの満足度を上げる取組について伺います。

答弁 コロナ前の9割以上の乗客が戻ってきています。高校生の通学利用で乗車定員を超えたため、緊急にダイヤ改正するほどでした。今後も満足度が高まるよう対応したいと考えています。

質問 公共交通の現状と路

質問 バスの満足度を上げ

るための具体的な取組について伺います。

答弁 バスロケーションシステムや、デジタルサイネージの設置等を実施しています。路線バスの乗り継ぎや運行便数の抜本的な改善は難しいですが、対策を進めたいと考えています。

質問 満足度を上げ、使える路線バスにするためには、バスの増便が必要だと思いますが、いかがですか。

答弁 運送効率を考えると、日中の生活路線の便数拡充

は効率的ではなく、その他の交通手段で補完することが実態に即していると考えます。広域路線は路線数を整理の上、便数拡充を検討する考えです。

質問 交通弱者に対する移動手段の全てに対応することが難しいなら、補完する意味でタクシー券の制度を見直す考えを伺います。

答弁 これまで相乗り時の複数枚利用や用途拡充、そして本年度は交付枚数を24枚から36枚にしました。

質問 板倉町・千代田町・邑楽町は48枚交付されています。千代田町は1回に3枚使え、使い切らなければ、買い物券としても使えます。タクシー券の枚数をさらに増やすことや1回に複数枚使えるようにすることに

ついて、どう考えていますか。
答弁 市内全域で公平に路線バスの補完としての役割を果たせる利便性の高い、よりよいタクシー助成制度の構築に努めていきたいと考えています。

「地域共生社会の実現」について

斉藤 貢一 議員



質問 現状の地域包括ケアシステムの課題を伺います。

答弁 必要な支援を包括的に確保するという理念から、高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障がい者や子ども、子育て家庭など、分野を超えた課題にも総合的に対応し、地域で自立した生活を送るための支援の

構築が課題として挙げられます。

質問 「地域共生社会」の考え方について伺います。

答弁 社会構造や暮らしの変化を踏まえ、制度、分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、地域主体の人と人、人と資源がつながり、住民一人一

人の暮らしと生きがい、地域を共に作っていく社会を目指すものです。

質問 生活していく中の複雑化する問題として、ダブルケアやヤングケアラー等が挙げられるが、どのように人数を把握し、対策をしようとしているのか、伺います。

答弁 実数では把握していませんが、介護などの相談の際に把握できることもあります。対策としては、館林市社会福祉協議会に「ふ

くし総合相談窓口」の設置を委託し、福祉課題を全て受け止める体制を整備しています。

質問 第三次地域福祉計画が終了し、第四次地域福祉計画に移行しました。この中で「地域共生社会」の実現に向けた道筋が示されていると思いますが、アンケート結果によると、相談事業所やケアシステムに対する認知度が低い状況にあります。課題解決には、相談事業の充実と取り残さない

アウトリーチが必要と考えますが、今後の方針について伺います。

答弁 生活支援コーディネーターを配置し、高齢者に対する生活支援や地域で支え合う仕組みを作るとともに、民生委員、各種相談窓口、地域と連携した個別解決方法を探ります。また、相談事業に対する周知については、アウトリーチの方策とともに課題と捉えていますので、今後、検討していきたいと考えています。



つつじが岡公園の賑わいの創出と ツツジの保護育成について

篠木 正明 議員



質問 つつじが岡公園の有料入園者数は、平成22年度までは、20万人前後でしたが、東日本大震災以降は10万人前後で推移し、今年度は7万2000人でした。入園者が減っている要因をどう分析しているのですか。

回答 地球温暖化によって、開花時期が早まっていることとや観光の目的が多様化したことが、入園者減少の要因と考えています。

質問 開花時期が早まったのなら、つつじまつり期間を見直すことも必要だと思えますが、いかがですか。

回答 つつじまつりの開催時期を早めることには課題はありますが、検討すべきと考えています。

質問 ツツジ古木群の保護育成のほか、賑わい創出のために、飲食物販・体験イベント等を充実させます。また、サイクリングターミナルの整備に合わせ、南側公園用地を活用します。

回答 ツツジ古木群の保護育成のほか、賑わい創出のために、飲食物販・体験イベント等を充実させます。また、サイクリングターミナルの整備に合わせ、南側公園用地を活用します。



尊い命が失われた件について 選挙公約の進捗状況の課題について

吉野 高史 議員



質問 尊い命が失われた件、自殺を半年間にわたって「隠蔽」し、昨年12月に公表した。6月には第三者委員会の調査発表のはずだが、

質問 ガイドラインには、自殺という重篤な事態の調査は、悪意のある記述が含まれる危険性もあることから、記名式が望ましいとある。また、その中には仲間外れや集団による無視等、自殺された生徒に該当することは全部書いてある。対応しなかったのでは。

回答 第三者委員会は、今後の再発防止を考え、自殺予防の取組の在り方を見直すことを目的に、調査等の全てを行っています。

質問 第三者委員会は、きちんと独立し公平公正に機能しているのか疑問だ。元

と考えています。

質問 つつじが岡公園再整備基本計画では、「新たなターゲットの獲得」や「通年・終日利用できる目的」を整備方針にしていますが、この方針に基づいて、どういうことをやるのですか。

回答 ツツジ古木群の保護育成のほか、賑わい創出のために、飲食物販・体験イベント等を充実させます。また、サイクリングターミナルの整備に合わせ、南側公園用地を活用します。

質問 担当が何度も生徒に寄り添って対応し、また、その記録もありました。生徒からの日記に対しても丁寧に返事も書いています。

質問 つつじが岡公園は、市民の宝であり、後世に引き継がなければなりません。ツツジの保護育成や管理の現状はどうなっていますか。

回答 つつじが岡公園係に、ツツジの保護育成に精通した職員を配置し管理しています。つつじ保護育成対策委員会での、有識者からのアドバイスを保護育成に役立てています。公園管理は、業務委託しています。

質問 第三者委員会は教育委員会の下請、こんな形で冷静、公平にやれるのか。

質問 下請の関係では駄目だと指摘している。第三者委員会とご家族との面談は。

回答 第三者委員会は中立性、公平性を持っています。教育委員会は指示を受けて庶務を行っています。

要望 かけがえのない子ども命が失われる、こんなことが起きないよう教育長にはしっかりとしてほしい。

質問 第三者委員会は中立性、公平性を持っています。教育委員会は指示を受けて庶務を行っています。

質問 住民税等の税金、無駄に使われることが無いように。例えば田山花袋記念文学館は月々金は閉館し、お客が多い土日を開館する等工夫し、年間の経費を400万円程度にする考えは。

要望 部長の代で経常収支比率・将来負担比率を低下させる心構えをしてほしい。

質問 12月議会では、終始前市長のルールの上を走った答弁でしたが、市民のためは何をやったのか。

要望 市民が多田市長を「ただの市長」と揶揄していると聞く。政策をバンバン打ち出すことを要望する。

要望 ネーミングライツ等を活用し努力していきます。



野村晴三議員 篠木正明議員 吉野高史議員 遠藤重吉議員

全国市議会議長会から 表彰を受けました

篠木正明議員、吉野高史議員、遠藤重吉議員の3名は20年間の多年にわたり、また、野村晴三議員は正副議長4年間、地方自治の伸長発展と市政の向上振興に貢献された功績により、このたび、全国市議会議長会から表彰を受けました。
これに伴い、6月19日、本会議開会前の議場において、その伝達式を行いました。

議会を傍聴してみませんか

本会議・常任委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。手続は議会棟3階及び4階で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。

【9月定例会の予定】

- 9月 1日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 4日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 5日(火)・ 6日(水) 本会議＝一般質問
- 7日(木)・ 8日(金) 委員会＝常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）
- 11日(月)・12日(火)・13日(水) 委員会＝決算特別委員会
- 20日(水) 本会議＝表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、8月30日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒ ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法により、議員が選挙区内にある者に対し、暑中見舞い状等の時候の挨拶状を出すことや新盆等に線香などのお供え物をする事は禁止されています。

今後とも、一層倫理の確立に努めてまいりますので、市民の皆様のご理解の程よろしく申し上げます。